



洗面化粧台

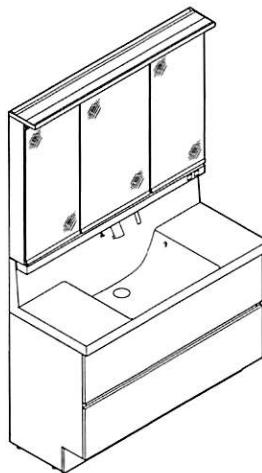
LSSEタイプ

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

■ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■取扱説明書にはご使用方法などを掲載しています。お手入れの内容は別冊「お手入れガイド」に掲載しておりますので、あわせてご覧ください。



取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※この取扱説明書とお手入れガイド、水栓金具・機器類の取扱説明書は必要なときにすぐ取り出せるところへ保管してください。

※転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書とお手入れガイドをお渡しください。

取付業者さまへ

取扱説明書とお手入れガイドは必ずお客さまにお渡しください。

各部のなまえ	1
「くもり止めコート」について	2
安全上のご注意	3
使用時のご注意	9
許容重量	10

ご使用方法	11
●照明	11
●コンセント	11
●収納トレイ	11
●スマートポケット	12
●水栓金具	13
●排水栓の開閉	17
●引出しの取外し・取付け	17

お掃除方法	18
長くお使いいただくために	22
●LED照明	22
●鏡扉の調節	22
●水栓金具	22
●引出しの調節	23
冬期凍結の恐れがある場合	24

故障かな?と思ったら	26
アフターサービスについて	28
●修理を依頼される前に	28
●保証書をご覧ください	28
●修理を依頼されるとき	28
●品番を調べる	29
●部品の保有期間について	29

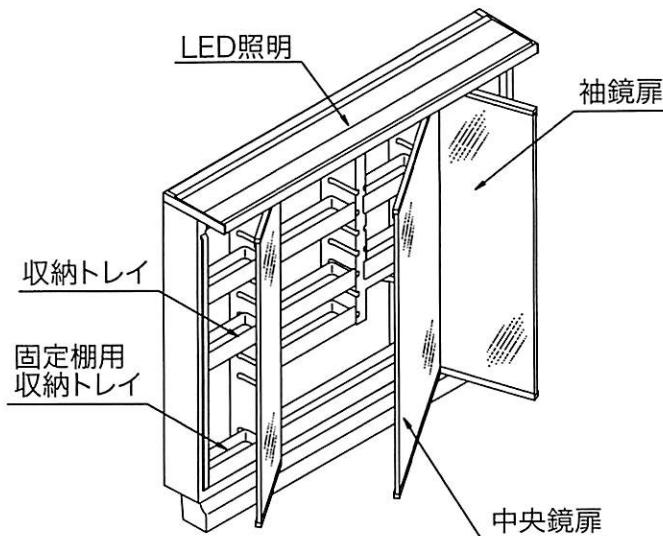
仕様	30
廃棄について	31
保証書	34

各部のなまえ

- ・商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
- ・図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

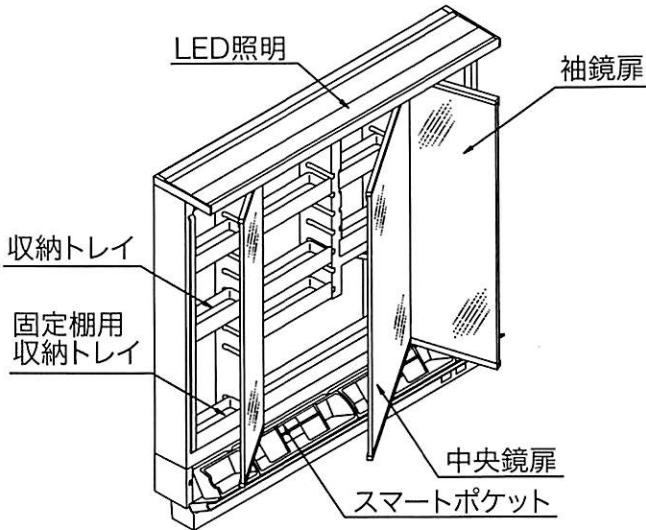
ミラーキャビネット

MVJ1-**3TXJU-G(DH*)



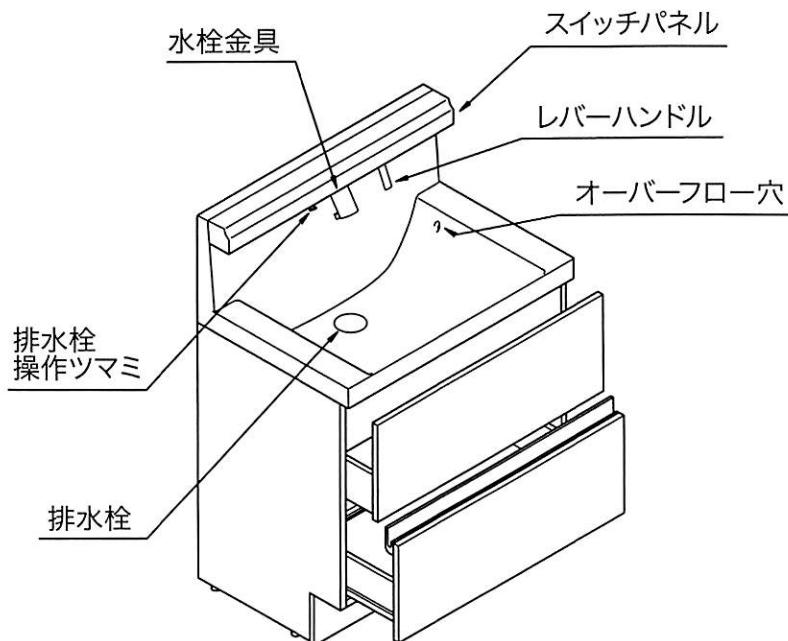
※中央鏡がくもり止めコートになります。

MVJ1-**3KXJU-G(DH*)



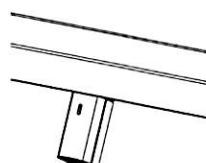
※中央鏡がくもり止めコートになります。

ベースキャビネット

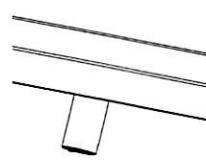


水栓金具の種類

●タッチレス水栓



●シングルレバーシャワー水栓



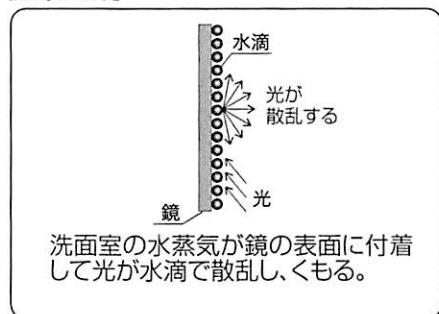
「くもり止めコート」について

「くもり止めコート」のしくみ

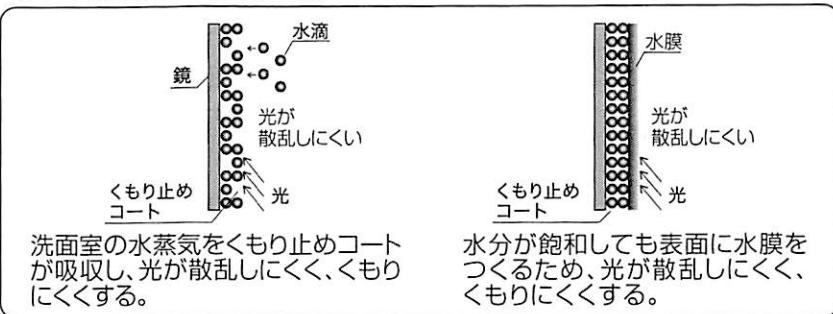
・3面鏡は中央の鏡のみ

鏡表面に『吸水性』と『親水性』の2つの性質を持つ柔らかい樹脂膜がコーティングしてあり、鏡がくもりにくくなっています。

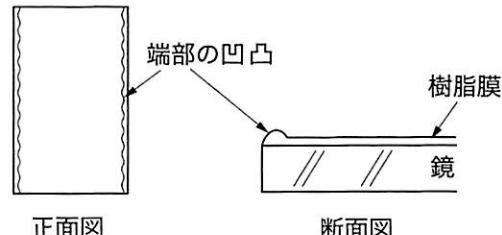
従来の鏡



くもり止めコート付の鏡



- 浴室の蒸気などが急激に付着すると鏡像がゆがんで見えたり、くもりが発生したりすることがあります。くもりが発生した場合は、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- 「くもり止めコート」は鏡表面に柔らかい樹脂膜をコーティングしているため、端部に凹凸があります。



使用時のご注意

- キズや色がついた所は強くこすらない。

※キズの部分からコーティングがはがれる恐れがあります。

鏡表面が変色・変形・キズがついた場合

補修できませんので、有料修理による部品交換になります。

- 鏡表面にテープ、シールなど粘着性のあるものやジェル状の飾り、吸盤などを貼らない。
※表面が変色(着色)し、取れなくなります。

- 毛染液・化粧品・液体うがい薬・歯垢染色剤などがつかないように注意する。

※表面が変色(着色)し、取れなくなります。変色(着色)した場合は、下記のお手入れを行ってください。

お手入れ方法

■毎日のお手入れ

鏡表面を柔らかいきれいな布で水拭きした後、乾いた柔らかいきれいな布で水分を取る。

■週1回のお手入れ

柔らかいきれいな布に約5倍に薄めた食器用中性洗剤(透明)を含ませて絞り、鏡表面の汚れを軽く拭く。

お願い

研磨剤入りの洗剤や固い布・ナイロンタワシなど使用しない。

※表面にキズがつく恐れがあります。

食器用中性洗剤に含まれる界面活性剤がくもり止め効果をより長持ちさせます。

- ・変色した場合…すぐに食器用中性洗剤(透明)を染み込ませたコットンを1~2時間貼り付けた後、水を含ませた柔らかいきれいな布で軽く拭くことで薄くすることができます。
- ・歯磨き粉が付いた場合…水を含ませた柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

■安全上のご注意(必ずお守りください)

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご覧のうえ、ご使用ください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



「分解してはいけません！」



「指示した場所に触れてはいけません！」



「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）



「電源プラグをコンセントから抜いてください！」



警告

全体



- 改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。

※ 感電や漏水、発熱・発火による火災の恐れがあります。

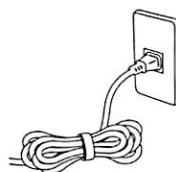


- スイッチやコンセント、電源プラグに水をかけたりぬれた手で触ったりしない。

※ 漏電や感電の恐れがあります。

- 電源コードは束ねたまま使用しない。

※ 発熱や発火による火災の恐れがあります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。

※ 電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しない。

※ 発火、ショート、感電の原因になります。

- 雷が発生しているときは、電源プラグに触らない。

※ 感電の原因になります。

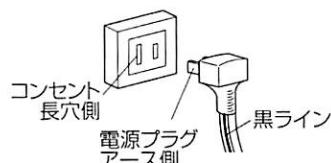


- 電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを単独で使用する。

※ 発熱や発火による火災の恐れがあります。

- 電源プラグは、アース側の刃(コードの黒ライン側)をコンセントの長穴に差し込む。

※ 逆向き接続は照明交換時に感電の恐れがあります。



全体



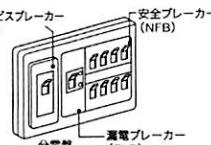
- ミラーキャビネットの周辺で異臭や異常音がする場合は、電気機器のスイッチ及び分電盤の安全ブレーカーを切り、速やかに修理を依頼する。

※ 异常のまま使用を続けると火災や漏電の恐れがあります。



- 洗面室の電気機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、速やかに修理を依頼する。

※ 洗面室の電気機器などに異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電などの恐れがあります。



- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込む。

※ 発火、ショート、感電の原因になります。

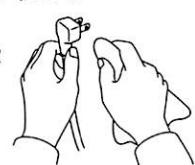


- 電源プラグを抜くときは必ずプラグ本体を持つ。

※ コード部分を引っ張るとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。

- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて乾いた布で拭き取る。

※ 電源プラグにたまつたホコリにより火災の恐れがあります。



- コンセントを使用するときは、表示電力(合計1300W)を守る。

※ 表示電力を超えると発熱や発火により火災になる恐れがあります。



- ドライヤーなどの電気器具の使用後は、コンセントから電源プラグを抜いて収納する。

※ スイッチが不意に入り、発熱や発火による火災の恐れがあります。

警告

はじめに

水栓金具



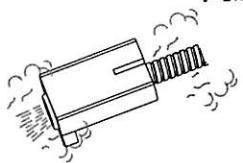
- 小さいお子さまでなければ使用しない。
※ヤケドやケガをする恐れがあります。
- 水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しない。
※商品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因になります。
※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。
- 水栓金具のセンサー部に水をつけたり、水をかけたりしない。
※発火、ショート、感電、故障の原因になります。
- 他所の水栓金具と同時に使用しない。
※圧力変動により、温度が急上昇しヤケドをする恐れがあります。
- 給湯機器の温度設定は85°C以上で使用しない。
※水栓が破損し、ヤケドや家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※なお、誤作動などによるヤケド防止のため、60°C給湯をおすすめします。

水栓金具



- 高温の湯の使用時は、シャワーホースが高温になっているため、直接肌に触れないよう注意する。
※ヤケドをする恐れがあります。

高温



- 高温の湯の使用後は、水栓金具内に高温の湯が残らないようしばらく水を流す。
※次の使用時に水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。
- 定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認する。
※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
- 使用前に必ず適温であることを確かめる。
- お湯の使用時は、必ずレバーハンドルを水側から開栓して、その後ゆっくり湯側へ回して温度の調節をする。
※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出し、ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 注意

全体



● 製品を傷つける洗剤や有機溶剤などは使用しない。

- ※破損・漏水・変色・サビの原因になります。
- ・有機溶剤（シンナー・ラッカーなど）
- ・除光液・漂白剤・ぬめり取り剤
- ・薬品（アルコール、塩酸など）
- ・酸性／アルカリ性／塩素系の洗剤

● 排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さない。

- ※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。



● 洗面ボウル、引出し、扉、取っ手などに乗ったり、ぶら下がったりしない。

- ※部材が破損・落し、ケガをする恐れがあります。



● 鏡に手をついたり、たたいたりしない。

- ※鏡や樹脂板が割れてケガをする恐れがあります。



● お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯管に触らない。

- ※ヤケドをする恐れがあります。



● 商品のガタツキや破損、故障が起きた場合は、すぐに使用を中止し修理を依頼する。

- ※使用を続けると、より大きな損害やケガの恐れがあります。（☞28ページ）
- ※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中止の際に必ずスイッチを切り電源プラグを抜いてください。

● 洗剤や洗浄剤などはそれぞれの「使用上の注意」に従う。

- ※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

● 鏡扉や引出しの角などに腕をぶつけないように注意する。

- ※ケガをする恐れがあります。

全体



● 化粧品・除光液・うがい薬などが付着したら、すぐに拭き取る。



- ※除光液、クレンジング剤などの化粧品、整髪料、毛染剤、脱色剤、うがい薬、芳香剤、漂白剤、洗剤などは、製品に悪影響を与えるものもあります。

- ※ヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落し、ケガをする恐れがあります。

- ※くもり止めコートの鏡ではくもり止め効果が低下する恐れがあります。

● キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉め、保管方法に注意する。

- ※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや動作不良の原因になります。

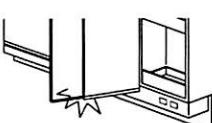
- ※キャビネットや容器に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

ミラー キャビネット



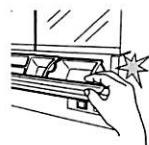
● 隣合う鏡扉は同時に開けない。

- ※鏡扉同士が接触して破損し、ケガをする恐れがあります。



● 鏡扉の隙間に指を入れたり、蝶番やステーの可動部を触ったりしない。

- ※開閉時に指を挟みケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時には特に注意してください。



照明



● 照明器具にぶら下がったり、力を加えたりしない。

- ※落下・破損してケガをする恐れがあります。

● LED照明部を長時間直視しない。

- ※目を傷める恐れがあります。

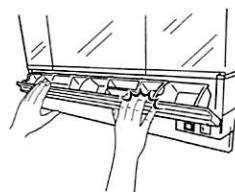


注意

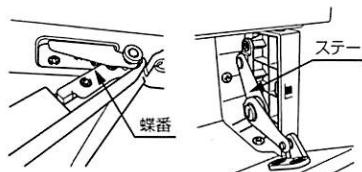
ミラーキャビネット



- 収納トレイ、スマートポケットに物を入れすぎない。
※破損や落下により、ケガをする恐れがあります。
※許容重量は10cm×10cm(100cm²)あたり0.5kgまでです。
※許容重量は底面に均等に物を載せた場合の値です。
- スマートポケットにぶら下がらない。
※部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



- 鏡に手をついたり、たたいたりしない。
※鏡が割れてケガをする恐れがあります。



- 鏡に直接水をかけない。

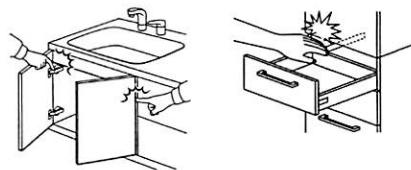
※漏水や鏡の腐食の原因になります。



キャビネット



- 扉の隙間に指を入れたり、レールや蝶番の可動部に触ったりしない。
※開閉時に指を挟みケガをする恐れがあります。
小さなお子さまの使用時は特に注意してください。



- 上段・下段を開けない。

※上下の引出で手を挟み、ケガをする恐れがあります。



洗面ボウル



- 洗面ボウルに熱湯を注がない。

※急激な温度変化により洗面ボウルが割れて漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。

- 洗面ボウルに重いものや固いものを落とさない。

※洗面ボウルが割れてケガをする恐れがあります。また、漏水により家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



注意

水栓金具



- 水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

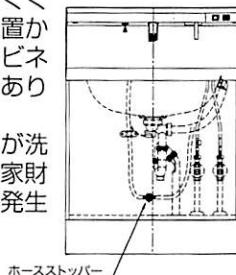
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。



- 水栓金具のホースストッパーは位置をずらさない。

※ホースが出し入れしにくくなったり、水受けの位置からずれたりして、キャビネット内をぬらす恐れがあります。

※ホースが出すぎると水が洗面ボウルからこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



- ハンドシャワー引出し口に直接水をかけない。

※水がキャビネット内に浸入し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

- メッキ面のハガレはそのまま放置しない。

※メッキ面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。

※すぐに使用を中止し修理を依頼してください。
(☞28ページ)

- 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けない。

※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。

- 直射日光が当たる場所では使用しない。

※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。

水栓金具



- 体格や身体状況により、使用時に化粧台と頭などが接近するため、頭などをぶつけないように注意する。

※ケガをする恐れがあります。

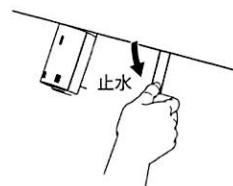
- 凍結が予想される場合は、必ず水抜きを実施する。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。
(☞24ページ)

- 断水時は水栓金具のレバーハンドルを必ず「止水」の位置にする。

※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



- レバーハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こす恐れがあるため、ゆっくり操作する。

※漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くする。

※正常な調節ができなくなり、
ヤケドをする恐れがあります。



- 旅行などで長期間使用しない場合は、レバーハンドルを閉じて電源プラグをコンセントから抜く。

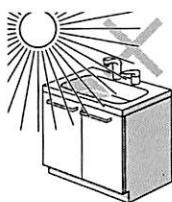
※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。

■ 使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

全体

- ヒーターなどの暖房器具やタバコ・マッチなどの火気を近づけない。
※変形やコゲ跡が付く恐れがあります。

- 直射日光やスポット照明・殺菌灯などを当てない。
※変色や変形の恐れがあります。
直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。

- ヘアピンやカミソリの刃などの金属類を放置しない。
※サビが取れなくなる恐れがあります。

- 排水器具のレリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしない。
また、収納物が接触しないように注意する。
※レリースワイヤーが切断・破損して、排水栓を開閉できなくなる恐れがあります。

- 吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置などを使用しない。
※吸盤を貼った周辺が変色する恐れがあります。

- ヘアードライヤーなどの熱風を当てない。
※変形・変色する恐れがあります。
- ミラーキャビネットの上に物を載せない。
※破損や変形する恐れがあります。
- 鏡に冷水や熱湯をかけない。
※急激な温度変化により、鏡が破損する恐れがあります。
- ラジオやテレビなどの電波を受信する機器はミラーキャビネットの近くで使用しない。
※雑音やちらつきの原因になります。

キャビネット

- キャビネットに水などをこぼさない。ぬれたらすぐに拭き取る。
※表面だけでなく、水がたまりやすい上下端部も拭き取ってください。
※木質でできていますので、水を含んで膨れたり、表面材が剥がれたりする原因になります。

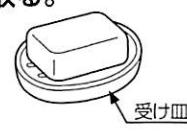
- キャビネット内の配管や配線に収納物などで無理な力を加えない。
※漏水、発熱・発火の恐れがあります。


水栓金具

- 水ためは「整流」で行う。
※シャワーで行うと、水面が波立ち水があふれる恐れがあります。

- 水ハネが多い場合は水の量を調節する。
※(☞22ページ)


洗面ボウル

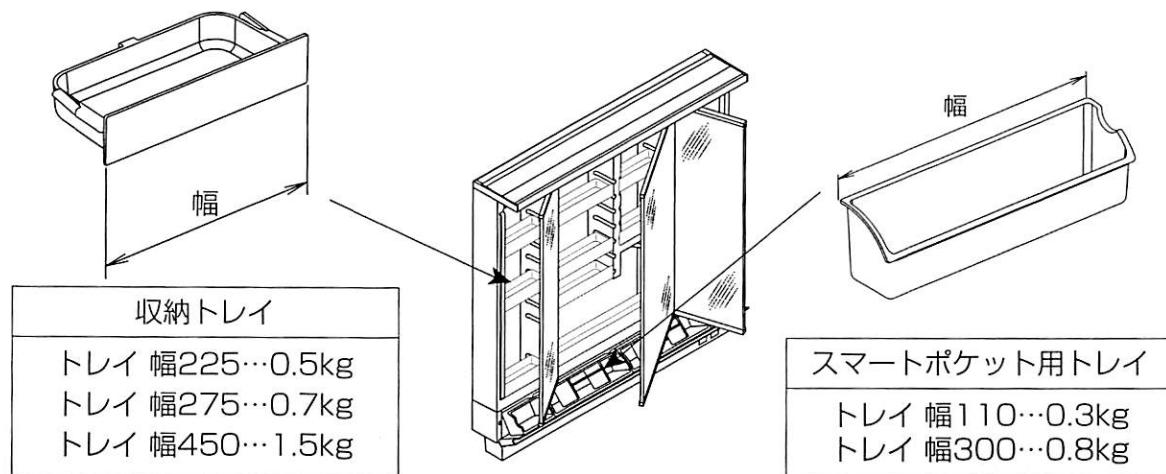
- 洗面ボウルに直接石けんを置かない。
必ず受け皿を使用する。
- ハンドソープ容器や受け皿の下は石けんカスがたまりやすいので、こまめに拭き取る。
※石けんカスが付いたまま長時間放置すると、洗面ボウルが変色したり光沢がなくなったりする恐れがあります。

- カウンター、洗面ボウルのデッキ面にぬれたものを長時間放置しない。
※変色したり、膨れたりする恐れがあります。

許容重量

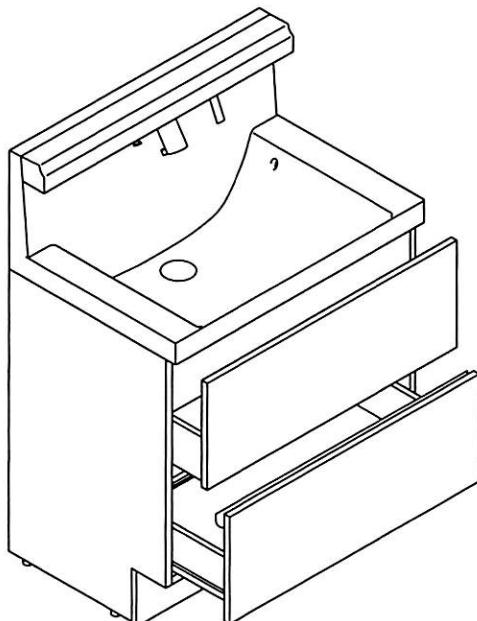
※許容重量は、均等に物を載せた場合の値です。

- ・下記の許容重量を超えないように使用してください
過剰に収納すると変形・破損し、ケガの原因になります。

ミラーキャビネット



ベースキャビネット

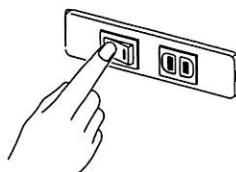


引出し	
100cmあたり0.5kg	

ご使用方法

照明

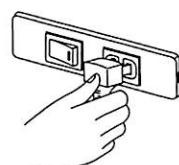
- つける 照明スイッチの右側を押す。
消す 照明スイッチの左側を押す。



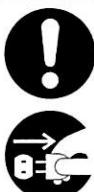
LEDにはバラツキがあるため、光色、明るさが異なる場合があります。

コンセント

電源プラグを差し込み穴にまっすぐ差し込む。



警告



- コンセントを使用するときは、表示電力(合計1300W)を守る。
※表示電力を超えると発熱や発火により火災になる恐れがあります。
- ドライヤーなどの電気器具の使用後は、コンセントから電源プラグを抜いて収納する。
※スイッチが不意に入り、発熱や発火による火災の恐れがあります。

収納トレイ

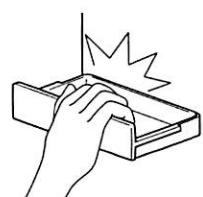
注意



- 収納トレイは確実に奥まで差し込む。
※収納トレイや収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。
※取付後は、しっかりとまっていることを確認してください。

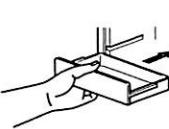
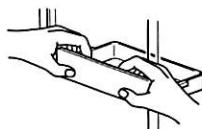
お願い

- 本体最下段には必ず収納トレイを使用する。
※取り付けないと収納物が落下しやすくなります。
- 収納トレイにつかまつたり、強く引っ張つたりしない。
※破損や変形の原因になります。
- 収納トレイに物を載せすぎない。許容重量を守って使用する。 (☞10ページ)
※変形・破損する恐れがあります。



取外し

収納トレイを両手で持ち、ツバを手前に広げて本体内部からツメを取り外す。



取付け

トレイ後面が本体側の穴に入り込むまで、しっかりと差し込む。

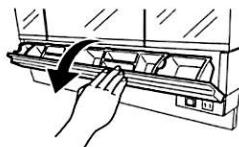
収納トレイを着脱する場合は、鏡扉の開き角度を90度にすると着脱しやすくなります。

スマートポケット

■扉の開閉方法

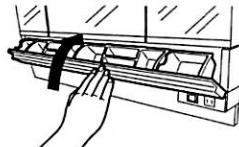
開ける

手かけを持って手前下に開く。
※スローダウン機構により、
ゆっくり開きます。



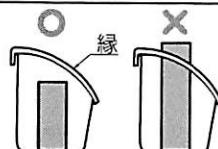
閉める

手かけを持って閉める。
※スローダウン機構により、
ゆっくり閉まります。



お願い

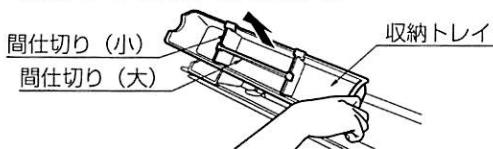
収納トレイの縁から出ないように収納する。
※スマートポケットが破損する恐れがあります。



■収納トレイの取付け、取外し方法

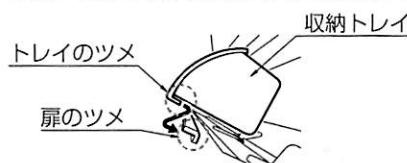
取外し方法

収納トレイを上方に持ち上げる。



取付方法

収納トレイのツメを扉のツメに合わせて取り付ける。



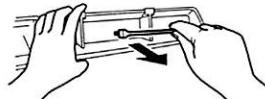
お願い

必ずツメを合わせる。
※スマートポケットが破損する恐れがあります。

■間仕切り(大)(小)の取付け、取外し方法

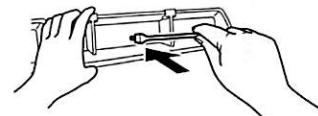
(大)の取外し方法

収納トレイに手を添えて
間仕切り(大)を上方に
持ち上げる。



(大)の取付方法

間仕切り(大)を奥まで
差し込む。



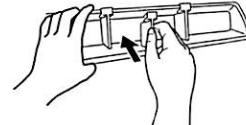
(小)の取外し方法

間仕切り(大)を取り外した後、
間仕切り(小)のツメを広げて
上方へ持ち上げる。



(小)の取付方法

間仕切り(小)を奥まで
差し込む。



お願い

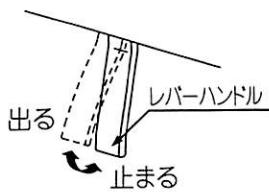
間仕切りの取付け・取外しは、必ず収納物を取り出し、収納トレイを取り外してから行う。
※収納物が落下したり、収納トレイや間仕切りが破損する恐れがあります。

水栓金具

■吐水方法

水を出す

レバーハンドルを上げる。
※上げ具合で吐出量を調節できます。



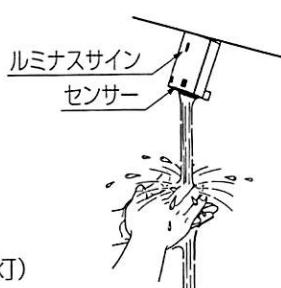
水を止める

レバーハンドルを下げる。
※左右どの位置でも止水します。

タッチレス水栓 [LF-NE397SY型の場合]

水を出す

吐水口の前に手を差し出す。
※センサーが感知し、吐水します。



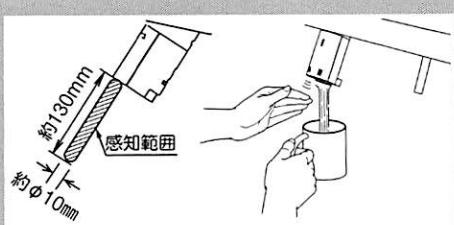
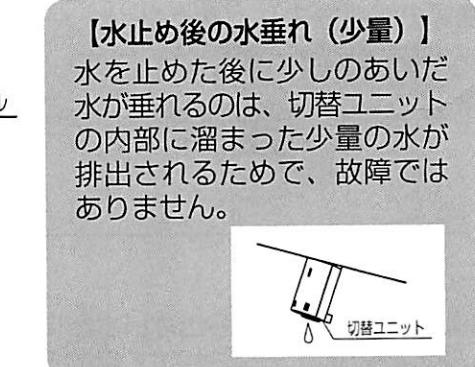
水を止める

手を引く。
※センサーが反応（ルミナスサイン白色点灯）
してから、1~2秒後に止水します。

【センサーの感知範囲】

感知範囲は吐水口手前のセンサーから下方向に約130mmの範囲です。

※センサーは赤外線を透過してしまうガラスなどでできたコップや花瓶は感知できません。またステンレス製およびメッキを施したコップなどは感知しないことがあります。
感知範囲に手をかざしてご使用ください。

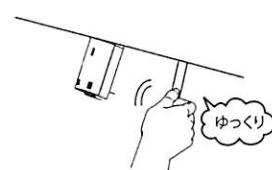


注意



●レバーハンドルはゆっくり操作する。

※急に開閉すると急激な圧力変動により配管が破損し、漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



●使用時に、棚や扉のかど、水栓の吐水口やハンドルで頭を打たないように注意する。

※ケガをする恐れがあります。



■温度の調節

[レバーハンドル位置]

左側へ回す具合で吐水温度を調節する。
※正面位置の場合は水が出ます。

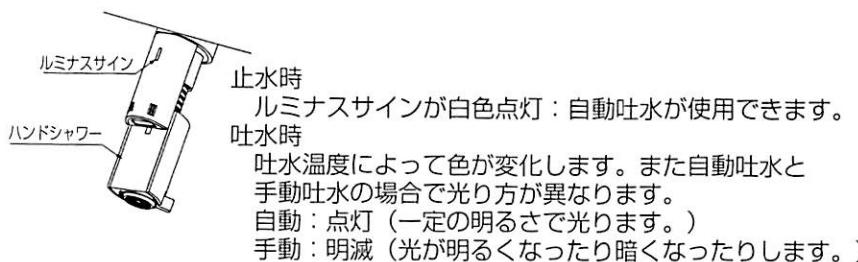
湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。



レバーハンドルが使い易い正面位置にあるときは水になり、無意識に湯を使用することなく、給湯器の無駄な着火を抑制できます。

■ルミナスサイン ※タッチレス水栓のみ

ルミナスサインはセンサーの状態と吐水中の温度を表示し、水に触れることなく一目で温度が判断できます。



「ルミナスサイン」は光源に高光度LEDを採用しております。光の色や明るさに多少のバラツキがありますが、LEDの特性によるものであり、問題なく使用できます。

温度	30°C以下	低温	→	高温	約45°C以上
色	青色 > 黄色 > オレンジ > 赤色 >				
光り方	手動	明滅		ON(明) OFF(暗)	
	自動 ※1	点灯		ON	
吐水	手動	可能 ○			
	自動 ※1	可能 ○			
		不可 × ※2			

※1 ハンドシャワー引出し時は、ルミナスサインが消灯し、自動吐水できません。

※2 高温止水機能により、自動吐水できません。

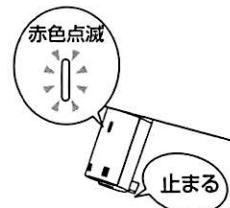
■自動センサーの安心機能 ※タッチレス水栓のみ

●自動吐水時の高温止水機能

自動吐水で、吐水温度が約45°C以上になると、吐水が自動で停止します。

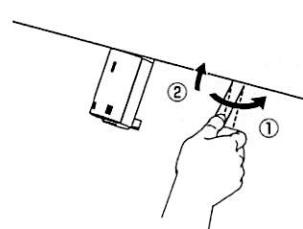
ルミナスサインは赤色点滅します。

※手動吐水時も約45°C以上になると、ルミナスサインが赤色点滅しますが、そのままご使用いただけます。これは故障ではありません。



●復旧方法

復旧するには、①レバーハンドルを右に回して、②水を流してください。

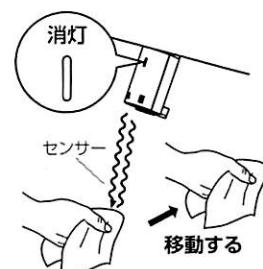


高温止水が頻発する場合は、給湯器の給湯温度を42°C以下に設定してください。

●自動止水機能

1分間自動吐水が続くとルミナスサインが消灯し、自動的に止水します。

感知範囲以内の手や物を移動し、ルミナスサインが白色点灯してから自動吐水を再開してください。



●手動吐水後の不意な自動吐水防止機能

手動吐水中にセンサー感知範囲内に手や物がある状態で止水した場合、

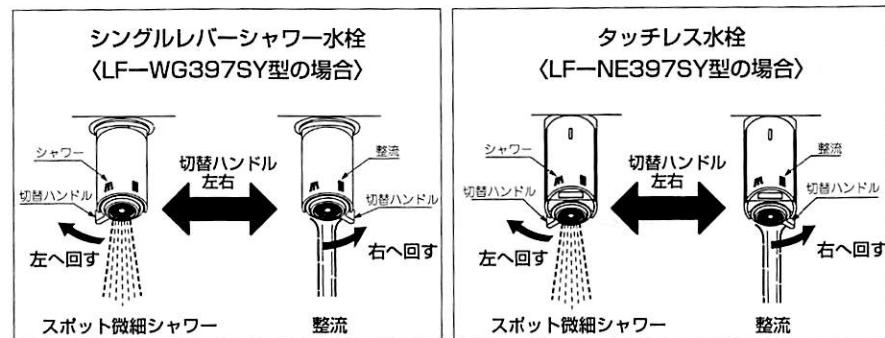
ルミナスサインが消灯し、自動吐水されません。

感知範囲内の手や物を移動し、ルミナスサインが白色点灯してから自動吐水を使用してください。

■整流・シャワーを切り替える

切替ハンドルを回して切り替える。

左：シャワー 右：整流



△ 注意



ハンドルは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替える。

※中間位置で止めると水が飛びはね、衣服がぬれる可能性があります。



切替ハンドルをシャワー位置に切り替える際、操作が重く感じることがあります。構造上パッキンをつぶすための抵抗感であり、不具合ではありません。

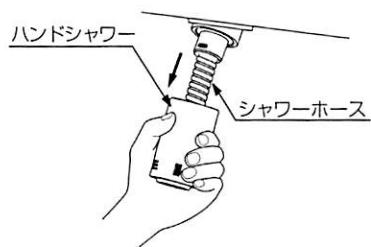
※整流位置に切り替える際は、抵抗感はありません。

■ハンドシャワーを引き出す

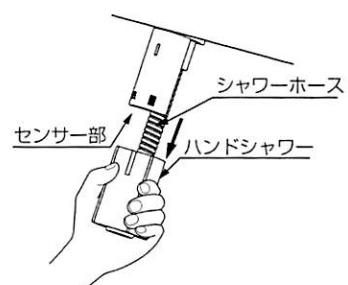
ハンドシャワーを持ち、台座から引き出す。
※使い終わったら、必ず台座に戻してください。

- ハンドシャワーが戻しにくいときは、シャワーホースに手をそえて収納します。
- 寒い時期、ハンドシャワーの出し入れが固いときは、しばらくの間、ホースにお湯または水を通水します。

シングルレバーシャワー水栓 (LF-WG397SY型の場合)



タッチレス水栓 (LF-NE397SY型の場合)



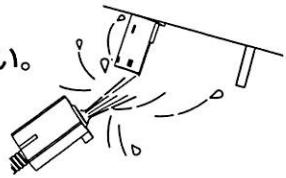


注意



●吐水部に無理な力を加えない。

※破損や漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



●ハンドシャワーの引出し口やスイッチパネルに水をかけない。

※キャビネット内に水が浸入し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

●掃除をする時などに、ハンドシャワー引出し部やレバーハンドル、ミラーキャビネットとスイッチパネルの隙間に直接水をかけない。

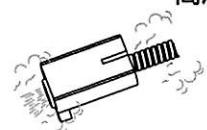
※キャビネット内に水が浸入する恐れがあります。



●高温の湯の使用時はシャワーホースが高温になっているため、直接肌に触れないように注意する。

※ヤケドをする恐れがあります。

高温



●ハンドシャワーを台座に戻す際、指をはさまないよう注意する。

※ケガをする恐れがあります。

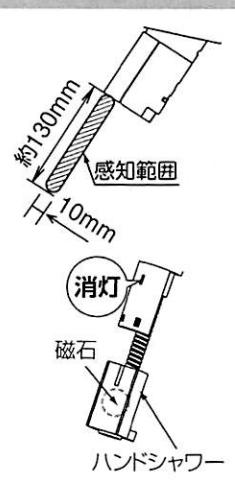
タッチレス水栓

〈LF-NE397SY型の場合〉

●ハンドシャワーを引き出す時は、センサー感知範囲を避けて引き出してください。

●ハンドシャワーには磁石を使用しています。磁石の力は微弱ですが、鉄製の小物などは、吸着する場合があります。また時計などの精密機器やベースメーカーなどがハンドシャワー上部に直接触れないようご注意ください。

※時計の故障やベースメーカーの亂れが生じる恐れがあります。



●ハンドシャワー引き出し中は、ルミナスサインが消灯し、自動吐水しません。

ハンドシャワーを元に戻すと、ルミナスサインが白色点灯し、自動吐水が使用できます。

●ハンドシャワーは確実に台座に差し込んでください。

※外れないと自動吐水が使用できません。

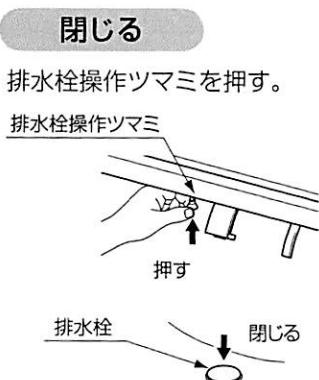
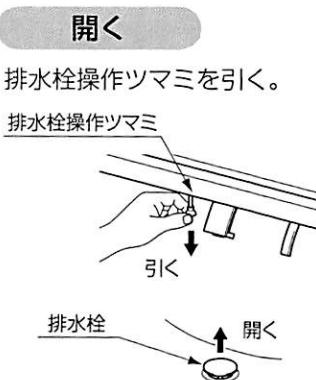
●センサー部に直接水をかけないでください。

※誤操作や故障の原因になります。また、キャビネット内に水が浸入する場合があります。

■停電時の対処方法

自動吐水はご使用できません。ハンドル操作にてご使用ください。

排水栓の開閉

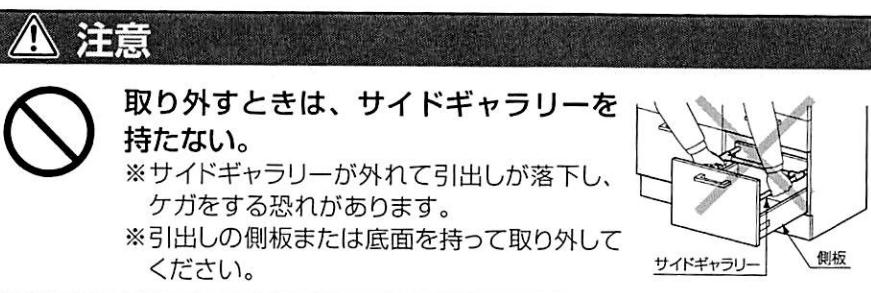
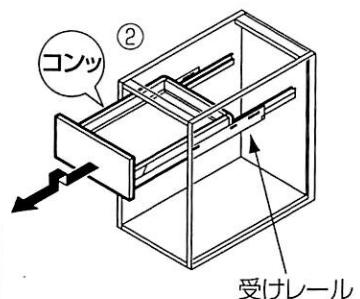


【砂などがかみ排水栓が上がらない場合】
排水栓に布粘着テープを貼り、持ち上げてください。

引出しの取外し・取付け

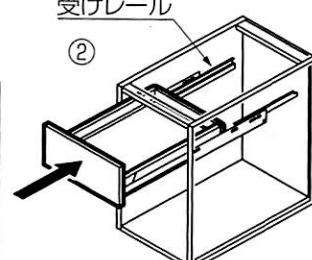
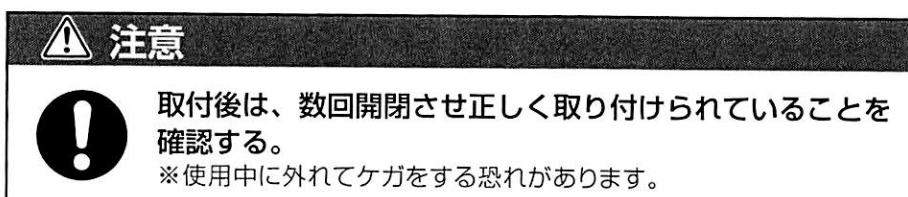
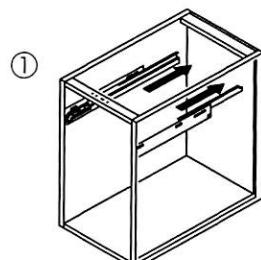
取外し

- ①引出しを止まるところまで引き出す。
- ②一度上に持ち上げ（コンツという音がしてロックが外れる）、さらに手前へ引き出す。



取付け

- ①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込む。
 - ②引出しを受けレールに乗せ、奥まで押し込む。
- ※その際、カチャカチャと音がしてロックされます。



お掃除方法

お願い

●以下の道具、洗剤は使用しない。

・研磨力の強いもの（粉末クレンザー、磨き粉） ・硬いスポンジ（金属タワシ、ナイロンタワシ） ・毛先の硬いブラシ ・古くなった布、ペーパータオル	表面が傷つく
・有機溶剤（シンナー、ラッカーなど） ・除光液 ・薬品（アルコール、塩酸など） ・洗剤（主成分にオレンジオイルが含まれるもの）	表面がヒビ割れ・ 変形する
・酸性／アルカリ性／塩素系の洗剤	・表面が変色やシミになる ・金属部にサビが発生する



●お手入れには柔らかいきれいな布を使用する。

鏡（くもり止めコートなし）※くもり止めコート付きの場合は、お手入れ方法が異なります。（☞2ページ）

使用する道具・洗剤	柔らかいきれいな布・ガラスクリーナー 綿棒・柔らかい毛のブラシ
-----------	------------------------------------

■毎日のお手入れ 固く絞った柔らかい布で水拭きする。

■ガンコな汚れは ガラスクリーナーを吹き付け、布で拭き取る。
鏡受けの隙間の汚れは、綿棒や柔らかい毛のブラシなどでかき出す。



ミラー本体・収納トレイ・スマートポケット

※お手入れするときは、収納物を取り出してから行ってください。

※収納トレイ（ミラーキャビネット用／スマートポケット用）は、取り外してから行ってください。（☞11、12ページ）

使用する道具・洗剤	柔らかいきれいな布・住宅用洗剤
-----------	-----------------

■毎日のお手入れ 固く絞った柔らかい布で水拭きする。

■ガンコな汚れは 布に住宅用洗剤を付け、汚れを拭き取る。

（収納トレイ・スマートポケットの汚れがひどい場合）

40℃くらいのお湯をかけ、スポンジで水洗いする。

※丸洗いした場合は、よくすすぎ乾燥させてから取り付けます。

本体の樹脂に発生する波紋状の黒ずみは、空気中のホコリが静電気により付着したものです。

から拭きすると静電気が起こりやすいので住宅用洗剤でのお手入れをおすすめします。

スイッチパネル

使用する
道具

柔らかいきれいな布

■定期的なお手入れ

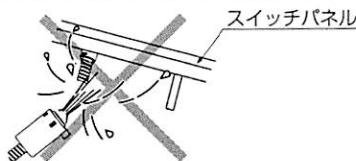
乾いた柔らかい布で汚れを拭き取る。

※ひどい汚れは水拭きで落した後、から拭きしてください。

お願い

スイッチパネルを掃除する際、直接水をかけない。

※水がキャビネット内に侵入し、キャビネット内部や収納物をぬらす場合があります。



水栓金具

使用する
道具

柔らかいきれいな布・歯ブラシ
マイナスドライバー

■毎日のお手入れ

乾いた柔らかい布で拭き取る。

※それでも落ちないときは、水拭きし、最後にから拭きしてください。

※布で拭きとりにくい部分は、歯ブラシなどを使用してください。

※ハンドシャワー引出し口やレバーハンドルに決して直接水をかけないでください。

注意



水栓やセンサーの表面を傷める恐れのある以下のものは使用しない。

- ・クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・ナイロンタワシ、ステンレスタワシ、ブラシなど
- ・シンナー、ベンジンなどの溶剤

※変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。

また、掃除で酸性洗剤などを使った場合はすぐに本品を十分水洗いしてください。



お願い

センサー感知範囲に手などが入るとセンサーが反応し自動で吐水する場合があります。自動での吐水が気になる場合は、ルミナスサインが消灯するまでハンドシャワーを引き出すとセンサーが反応しなくなります。



散水板の掃除

散水板が汚れていると、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水拭きしてください。また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐出量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを取ってください。

シングルレバーシャワー水栓 (LF-WG397SY型の場合)



タッチレス水栓 (LF-NE397SY型の場合)

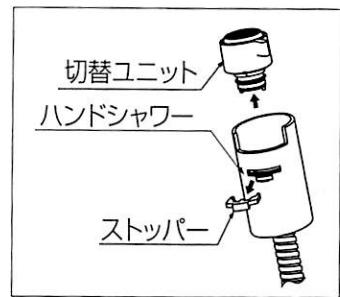


■定期的な手入れ ストレーナーの掃除

切替ユニットのストレーナーにゴミが詰まると、吐出状態が乱れたり吐出量が少なくなります。ときどき、次の要領で掃除してください。

お願い

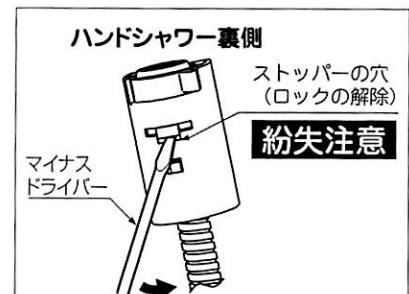
- ストッパーを紛失しないように注意する。
※紛失すると切替ユニットを固定できなくなります。
- ドライバーを使用する場合はハンドシャワーにキズがつかないよう、必ず布を当てる。
※ハンドシャワーにキズがつき、ケガをする恐れがあります。
- 切替ユニットは回転させず、まっすぐ引き抜いて外す。
※無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。



①ストッパーの紛失を防ぐため、排水栓を閉じる。

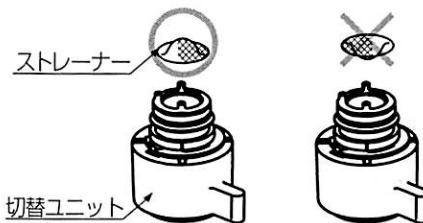
②ハンドシャワーの裏側にあるストッパーをスライドさせて、切替ユニットを取り外す。

③ストレーナーのゴミを水洗いで取り除く。



お願い

- 切替ユニットを落とさないように注意する。
※破損したり、キズがついたりする恐れがあります。
- ストレーナーが切替ユニットから外れてしまった場合は、向きに注意して取り付ける。
※向きが正しくないと、ゴミが詰まりやすくなり、流量が少なくなる場合があります。

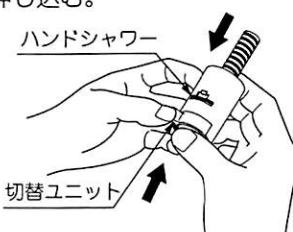


④切替ユニットの凸部をハンドシャワーの凹部に合わせて、はめ込む。

ストッパーは外した状態で作業してください。ストッパーが飛び出し、ケガをする恐れがあります。



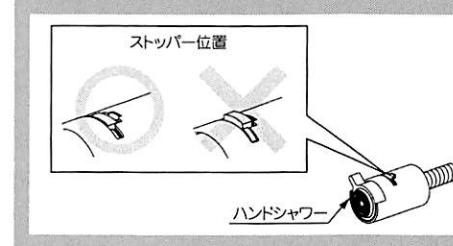
⑤切替ユニットをハンドシャワーの奥まで確実に押し込む。



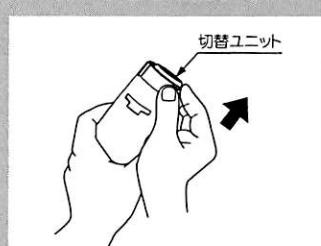
⑥ストッパーをロックする。



- ストッパーがハンドシャワーよりはみだしていないことを確認する。



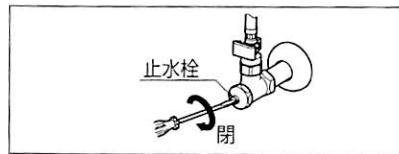
- 取付け後、切替ユニットを引っ張っても外れないことを確認する。



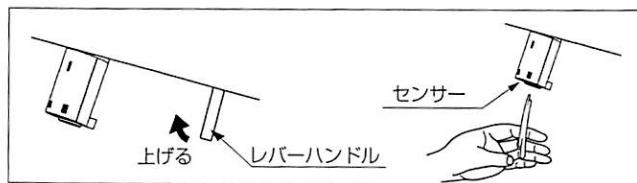
タッチレス水栓のみ

〈LF-NE397SY型の場合〉

⑦湯側・水側の止水栓を閉じる。(右に止まるまで回す)

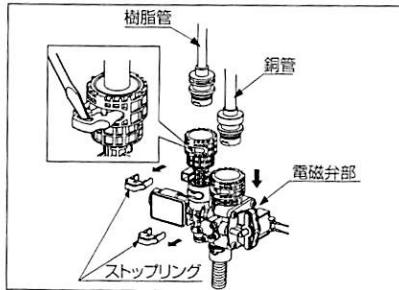


⑧レバーハンドルを上げるか、手を差し出しセンサーを感知させ、止水確認、圧抜きをする。

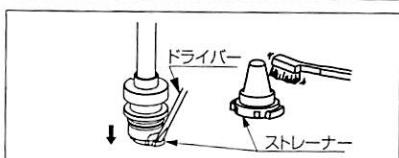


⑨ストップリングをマイナスドライバーで外し、樹脂管と銅管から電磁弁部を取り外す。

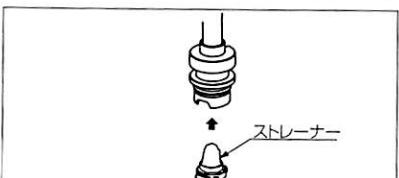
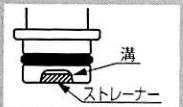
洗面器などで排出される水を受けてください。



⑩樹脂管と銅管それぞれのストレーナーを取り外し、歯ブラシなどで洗剤を使わずに掃除する。



⑪ストレーナーを樹脂管と銅管に取り付ける。

ストレーナーを
しっかりとはめ込んでください。

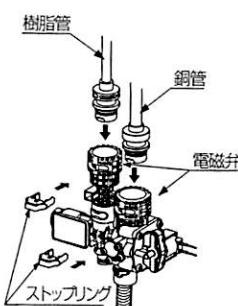
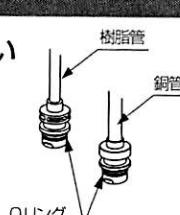
⑫電磁弁部に樹脂管と銅管を同時に接続する。



注意

●Oリングに傷をつけたり、ゴミかみしたりしない
ように注意する。
※漏水の原因になります。

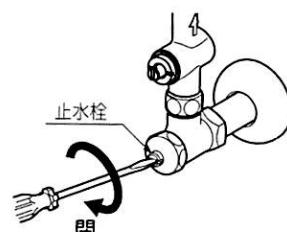
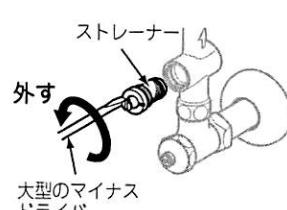
●樹脂管と銅管は無理に曲げない。



寒冷地仕様の場合

①給水(給湯)の止水栓を閉じる。

※操作方法は止水栓の取扱説明書をご確認ください。
(止水栓は別売品です。)

②ストレーナーをマイナスドライバーで取り外す。
(左に回す)

③ストレーナーのゴミを歯ブラシなどで洗剤を使わずに掃除する。

④ストレーナーを取り付ける。

■長くお使いいただくために

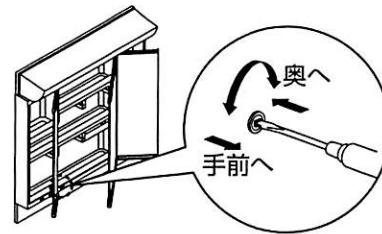
LED照明

LED照明タイプは、お客さまでの交換はできません。照明器具一式での交換になります。
交換・修理が必要な場合はLIXIL修理受付センターに依頼してください。（☞28ページ）

鏡扉の調節

■扉がきちんと閉まらない場合

マグネットキャッチを左に回し、手前に出す。



■扉が出すぎている場合

マグネットキャッチを右に回し、奥に入る。

※上下方向の傾きも調節してください。

水栓金具

■点検

水まわりの水漏れ（年2回以上）

●水まわりの水漏れがないか点検してください。

●見えない部分は特に注意が必要です。

（洗面化粧台キャビネット内）

※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

（☞28ページ）



水栓本体のガタツキ（年2回以上）

●水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。
(☞28ページ)

■水の量の調節

水の量の調節は止水栓を操作して行ってください。

※操作方法は止水栓の取扱説明書をご確認ください。

（止水栓は別売品です。）

お願い

メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録する。

※止水栓を元の位置に戻すときに必要です。

※元の位置に戻さないと設定が変わるために、湯温の変化や水があふれる恐れがあります。

レバーハンドルを全開にしたときに、湯・水それぞれ約7L/min（1リットルの容器をいっぱいにするのに約9秒）となるように止水栓で調節してください。

※湯と水の流量が同じになるように調節してください。

※自動吐水は定流量弁が入っているため、4L/minしか吐水されません。

引出しの調節

- 引出しを調節する際は、引出し内の収納物をすべて取り出してから行ってください。
- 調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。

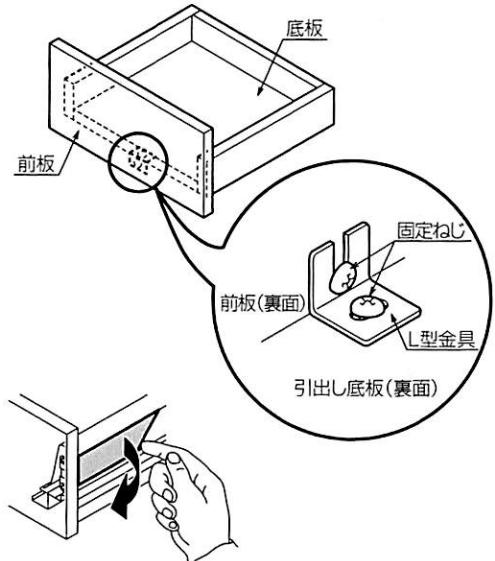
●調節前の準備

引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具が取り付けられています。引出し調節（前板の傾き調節以外）を行う際は、必ず固定ねじを緩めて（金具が動く程度）から行ってください。

また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。

●引出し前板の調節

引出し本体横の化粧カバーを取り外す。



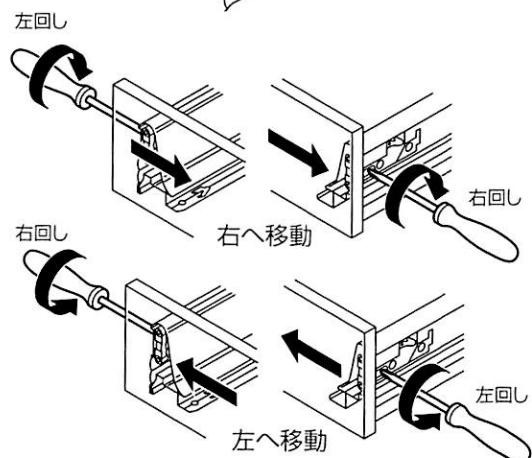
左右の調節

右図のように、左右調節ねじを回して調節する。

- ・右へ移動する：右側ねじを右に回し、左側ねじを左へ回す。
- ・左へ移動する：右側ねじを左に回し、左側ねじを右へ回す。

※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。

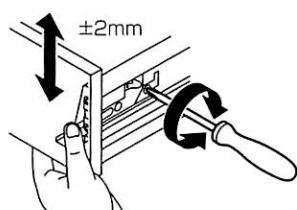
※調節範囲：左右方向へ各 1mm（計 2mm）程度。



上下の調節

右図のように、上下調節ねじを回して調節する。

※調節範囲：上下方向に各2mm程度。

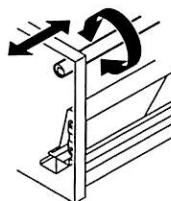


前板の傾き調節

右図のように、サイドギャラリー（パイプ）を回し前板の傾きを調節する。

- ・前板を手前へ倒す：左へ（前板正面から見て）回す。
- ・前板を後方へ倒す：右へ（前板正面から見て）回す。

※サイドギャラリー後方の樹脂部品（グレー色）のねじ部に隙間が残りますが、この隙間は調節しろです。



【冬期凍結の恐れがある場合

水栓金具の水抜き

⚠ 注意



凍結が予想される場合は、次の対策を実施する。

- 水栓金具が一般地仕様の場合…水栓金具から少量の水を出したままにする。
- 水栓金具が寒冷地仕様の場合…建築側配管の水抜き操作後に、水栓金具のハンドルを全開にして水抜き操作を行う。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

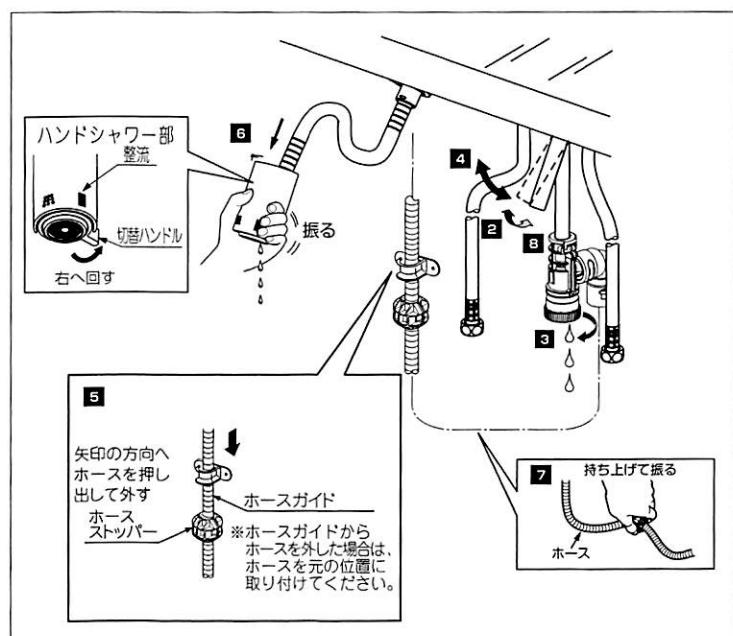
一般地用をご使用の場合

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

寒冷地用をご使用の場合

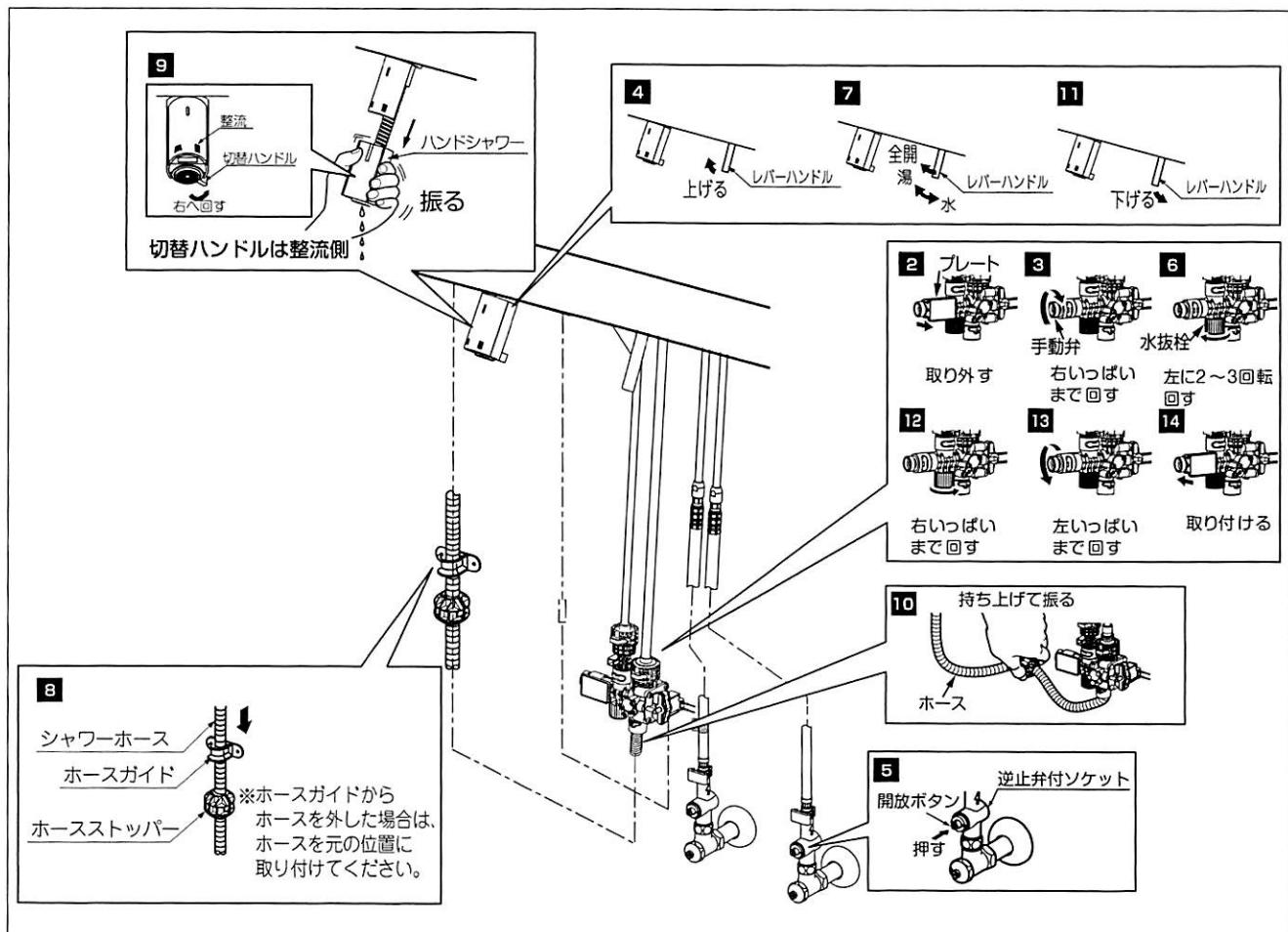
シングルレバーシャワー水栓（LF-WG397SY型の場合）

1. 配管の水抜栓を操作する。
 2. レバーハンドルを上げる。
 3. 水抜栓を開ける。
 4. レバーハンドルを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
 5. ホースガイドからホースを外す。
 6. ハンドシャワーの切替ハンドルを整流にし、
ハンドシャワーを振って水をよく切る。
 7. ホースを水抜栓より上に持ち上げ、
上下に振って完全に水を抜く。
 8. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルを閉める。
- ※水抜き完了後は忘れずに水抜栓を閉めてください。
※ホースガイドがある場合は、ホースを元に戻してください。



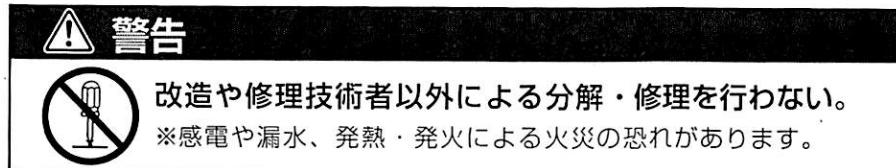
タッチレス水栓 〈LF-NE397SY型の場合〉

1. 配管の水抜栓を操作する。
 2. プレートを取り外す。
 3. 手動弁を開ける。（右いっぱいまで回す。）
 4. レバーハンドルを上げる。
 5. 逆止弁ソケットの開放ボタン（2個）を押す。
 6. 電磁弁部の水抜栓を開ける。
※洗面器などで排出される水を受けてください。
 7. レバーハンドルを全開状態で数回水側から湯側まで回す。
 8. ホースガイドがある場合は、ホースガイドからホースを外す。
 9. 切替ハンドルを整流にし、ハンドルシャワーを振って水をよく切る。
 10. ホースを振ってホース内に残った水を抜く。
 11. 水栓の水が抜けたらレバーハンドルを下げる。
※ホースガイドがある場合は、ホースを元に戻してください。
 12. 電磁弁部の水抜栓を閉じる。
 13. 手動弁を閉じる。（左いっぱいまで回す。）
 14. プレートを手動弁部に取り付ける。



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。



部位	こんなとき	対処方法	参照ページ
照明	LED照明が暗い。	修理を依頼してください。 LED照明は約4万時間の点灯で約70%の照度になります。(無償保証時間とは異なります。)	P28
鏡扉	扉がきちんと閉まらない。 段差がある。	マグネットキャッチを回転させて調節してください。	P22
	扉がガタついている。	修理を依頼してください。	P28
	くもり止めコート付の 鏡がくもる。	柔らかいきれいな布に約5倍に薄めた食器用中性洗剤 (透明)を含ませて絞り、鏡表面を軽く拭いてください。	P2
	くもり止めコート付の鏡にうがい薬や 毛染液がついて変色した。	すぐにコットンに食器用中性洗剤(透明)をしみこませたものを 1~2時間貼り付けた後、柔らかいきれいな布に水を含ませて 軽く拭くことで色を薄くすることができます。	P2
スマート ポケット	黒い粉が発生した。	微量の場合は、拭き取ってください。 蝶番の摩耗により金属粉が発生しますが異常ではありません。	P18
		著しい場合は、修理を依頼してください。	P28
		修理を依頼してください。	P28
水栓金具 (タッチレス 水栓の場合)	吐水しない。	止水栓を開いてください。	P22
		ブレーカーを確認してください。 (停電時の使用方法は16ページを確認してください。)	P4
		電源プラグをコンセントに差し込んでください。	—
		センサー周りの汚れを、柔らかい布で拭き取ってください。	P19
		ストレーナーのゴミを取り除いてください。	P20~21
		ハンドシャワーを吐水口に差し込んでください。	P15,16
		センサー感知範囲内の障害物を移動してください。	P16
	水の出が悪い。	止水栓を調節してください。	P22
		ストレーナーのゴミを取り除いてください。	P20~21
	出たり止まったりを繰り返す。 (勝手に吐水する)	センサー周りの汚れを、柔らかい布で 拭き取ってください。	P19
	水が止まらない。	センサーの感知範囲にある障害物を取り除いてください。	P16,19
		センサー周りの汚れを、柔らかい布で拭き取ってください。	
		レバーハンドルを閉じてください。	P13
	ルミナスサインが赤色点滅する。	レバーハンドル操作で通水してください。	P14
	ルミナスサインが白色点滅する。	水温測定部または水温表示部が故障した可能性が あります。修理を依頼してください。	P28

部位	こんなとき	対処方法	参照ページ
水栓金具	吐水しない。	止水栓を開いてください。 ストレーナーのゴミを取り除いてください。	P20~22
	水の出が悪い。	止水栓を開いてください。 ストレーナーのゴミを取り除いてください。	P20~22
	水ハネが多い。	止水栓を調節してください。	P22
	水が止まらない。	止水栓を閉めて、修理を依頼してください。	P28
キャビネット	扉・引出し前板がずれている。	ズレを調節してください。	P23
排水口	水がたまらない。	排水栓のパッキンの向きや変形がないか確認してください。	—
	洗面ボウルから水があふれる。	止水栓を調節してください。	P22
	排水の流れが悪い。	排水口、排水トラップを掃除してください。	☆
	排水栓が開閉しない。	排水口まわりのゴミや砂を取り除いてください。	P17
	オーバーフロー穴から泡が出てくる。	大量に泡を流したり泡立ちの良い洗剤を使用した時に起こる現象で異常ではありません。 少し間をおき、泡が落ち着いてから流してください。	—
	水が抜けていく。	多めに水ためをし、栓に水圧をかける。 または、栓を手で軽く押し排水口に密着させることで抜けにくくすることができます。	—
排水トラップ	水が漏れている。	排水トラップの締付ナット、掃除口を締めなおしてください。	☆

※☆については「お手入れガイド」をご覧ください。

●水を止めた後に少しのあいだ水が垂れる…

切替ユニットの内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。

●使用していないのに、水がポタポタと数滴垂れる…

内蔵の圧力逃がし弁(※)が作動したため、故障ではありません。

※ 圧力逃がし弁とは、他所の水栓や洗濯機などの使用時に起こる急激な圧力上昇から水栓を保護するための弁で、作動すると吐水口から数滴の水が垂れることができます。



I アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(☞26,27ページ)を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

保証書をご覧ください

保証書(裏表紙裏面)は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常などは保証の対象になりませんのでご注意ください。

- 取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- 取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- 火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- 水栓金具や排水トラップの止水パッキンなどの消耗品

修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. おなまえ・おところ・電話番号
2. 商品名・品番
(☞29ページ「品番を調べる」)
3. 取付年月日
(保証書に表示)
4. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
(☞26,27ページ「故障かな?と思ったら」)
5. 訪問ご希望日

■修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、LIXIL修理受付センターに連絡してください。

- お求めの取扱店(保証書に表示)

- LIXIL修理受付センター

- WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

- お電話でも修理を承ります

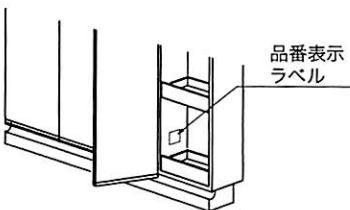
受付時間／9:00～19:00

TEL ☎ 0120-179-411
FAX ☎ 0120-179-456

品番を調べる

- ・品番表示ラベルで品番を確認してください。
- ・品番表示ラベルは、お問い合わせ・部品交換の際に必要な情報のため、製品に貼り付けた状態で使用してください。

■ミラーキャビネット



品番表示ラベル例

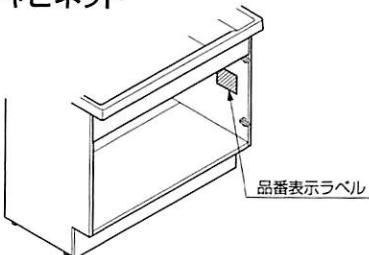


品番の見方

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨										
M	V	J	1	-	9	0	3	T	X	J	U	-	G	(D	H	1)

- ① 部位
M : ミラーキャビネット
- ② シリーズ
VJ1 : LSSE
- ③ 間口
90 : 900mm
- ④ 鏡枚数
3 : 3面鏡
- ⑤ タイプ詳細
T : 全収納
- ⑥ 高さ
X : 全高1,900mm用
- ⑦ 照明
J : LED照明
- ⑧ くもり止めコート
U : くもり止めコート付
- ⑨ 電源仕様
G : 直結式電源仕様

■ベースキャビネット



品番表示ラベル例



品番の見方

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩																
V	J	F	H	T	-	9	0	5	S	Y	N	-	A	G	L	(D	H	3)	/	Y	S	2	H

- ① シリーズ
VJ : LSSE
- ② 収納タイプ
FH : フルスライドタイプ
- ③ 取っ手
T : 手掛け
- ④ 間口
90 : 900mm
- ⑤ 水栓金具
5SY : シングルレバーシャワー水栓
5JY : タッチレス水栓
- ⑥ 一般地・寒冷地
省略 : 一般地仕様
N : 寒冷地仕様
- ⑦ ソフトサイレンス
A : ソフトサイレンス仕様
- ⑧ ドア枠回避
省略 : ドア枠回避なし
GL : 向かって左側ドア枠回避
GR : 向かって右側ドア枠回避
- ⑨ 扉色
YS2 : グロスホワイト
HD2 : ディープグレー
LM2 : クリエモカ
LP2 : クリエペール
- ⑩ カウンター色
H : プレーンネオホワイト (PH-01)

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。

保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承願います。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

※補修用性能部品は代替品（仕様・形状・材質などが異なる部品）でのご提供となる場合があります。

仕様

ミラーキャビネット

	3面鏡(LED照明)	3面鏡(スマートポケット付)
間口(mm)	900	
品番	MVJ1-903TXJU-G(DH1)	MVJ1-903KXJU-G(DH1)
サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	900×158×916	
主な材質	本体:PP樹脂、トレイ:PP樹脂	
鏡	中央:くもり止め仕様×1、袖鏡:防湿仕様×2	
照明	LED照明	
定格電圧周波数	AC100V 50Hz/60Hz	
定格消費電力	6W	
コンセント	3口:使用電力は合計1300Wまで	
色	ホワイト	
スマートポケット用 収納トレイ	—	トレイ110×2 トレイ300×2 トレイ用間仕切り(大)×2 トレイ用間仕切り(小)×4
ミラーキャビネット用 収納トレイ	トレイ(小)225×11 トレイ(小)275×4 トレイ(中)450×1	トレイ(小)225×8 トレイ(小)275×3 トレイ(中)450×1

洗面化粧台

間口(mm)	900
品番	VJFHT-905JY(N)-A(DH3)、VJFHT-905SY(N)-A(DH3)
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	900×500×1060
水栓金具	シングルレバーシャワー水栓/LF-WG397SY-MB(寒冷地仕様:LF-WG397SYN-MB) タッチレス水栓 ナビッシュ/LF-NE397SY-MB(寒冷地仕様:LF-NE397SYN-MB)
排水器具	ポップアップ式排水栓
本体	木組構造(合板、パーティクルボード、MDF)
カウンター	人造大理石(ポリエスチル樹脂系)／洗面ボウル容量 16L／PH-01:プレーンホワイト
付属品	排水トラップ、排水アダプター、排水プレート、高さレベル調整用スペーサーセット

水栓金具

シングルレバーシャワー水栓 (LF-WG397SY型の場合)

給湯器設定温度	85°C以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水（※1）
使用環境温度	【一般地仕様】 0～40°C 【寒冷地仕様】 -20～40°C		ただし、内部の水を凍結させないでください。
給水給湯接続	G1/2		
圧力条件	0.05（流動圧）～0.75MPa（静水圧） 給水圧力≥給湯圧力（※2）		

※ 1：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

※ 2：給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

タッチレス水栓 (LF-NE397SY型の場合)

電 源	AC100V 50/60Hz	消 費 電 力	常時：1.0W、作動時：3.0W
給湯器設定温度	85°C以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水（※1）
使用環境温度	【一般地仕様】 0～40°C 【寒冷地仕様】 -20～40°C		ただし、内部の水を凍結させないでください。
給水給湯接続	G1/2		
圧力条件	0.08（流動圧）～0.75MPa（静水圧） 給水圧力≥給湯圧力（※2）		
感 知 距 離	約130mm(グレーカード:約130mm角)	感知エリア幅	約Φ 10mm 以下
電源コード長さ	約0.6m		

※ 1：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

※ 2：給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

廃棄について

キャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番： LSSEシリーズ

保証期間	取付日より 2ヶ年	取付日 年 月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名
	おところ	
	おでんわ ()	TEL () -

お客さまへ

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のため利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - (1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
 - (2) 取扱説明書などに基づかない取付けに起因するキズや破損・その他の不具合。お引渡し時に申し出の無かったもの
 - (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
 - (4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - (5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - (8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - (9) 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
 - (10) 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
 - (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
 - (12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
 - (13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷
(※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう)
 - (14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - (16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音・振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
 - (17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - (18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は (本文の「アフターサービスについて」をお読みください)

LIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間／9:00~19:00

TEL ☎ 0120-179-411

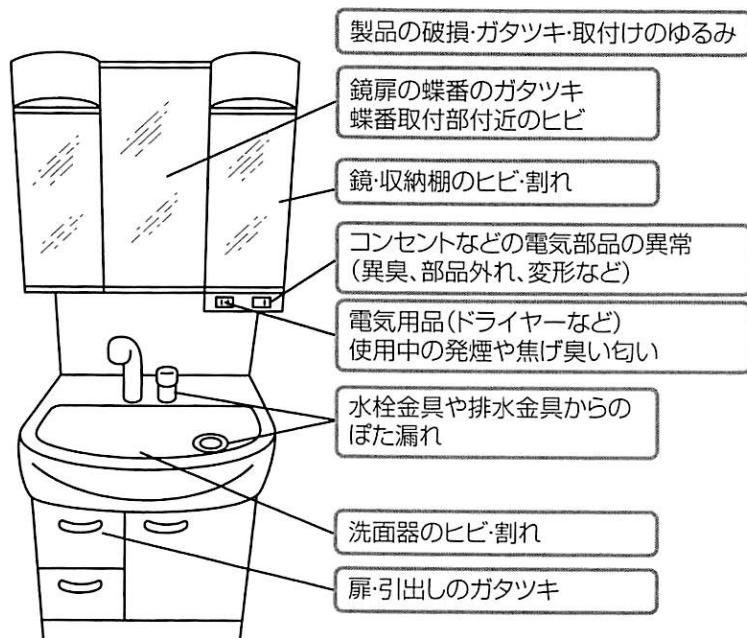
FAX ☎ 0120-179-456

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス

<http://www.lixil.co.jp/>

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。



袋:PE

GMB-0560(21092)